

平成22年 県政10大ニュース

① 産業集積の進展

- ・日田キヤノンマテリアルの着工決定(12/2)
- ・「東九州地域医療産業拠点構想」策定(10/25)
- ・大分県LSIクラスター形成推進会議が韓国忠清北道の半導体クラスター企業とビジネス交流覚書締結(8/23)

② 農林水産業の新展開

- ・マーケット起点のものづくり進む
いちごや白ねぎの県外市場占有率拡大
カボス飲料が全国で爆発的に売れる
第58回全国乾椎茸品評会で12年連続、通算44回目の団体優勝(7/6)
第49回農林水産祭で(有)お花屋さんぶんご清川が天皇杯(園芸部門で20年振り)受賞(11/23)
かぼすブリ・かぼすヒラメ出荷開始(12/16)
- ・企業参入に成果
ニ和酒類㈱(于佐市:ふとつ 4ha)(3/30)
九州ジージージー(株)(日田市:もやし 日量60t)(6/25)
㈱刀の源カンハニー(竹田市:野菜 3ha)(1/14)
中国木材㈱(佐伯市:原不洩資重 4万㎡)(11/2) はか
- ・次世代林業九州サミット会議開催(日田市、7/6)

③ 口蹄疫防疫対策に全力

- ・大分県内への侵入防止に万全の対策を講じるとともに農家支援対策等を実施(県境等に消毒ポイント設置、家畜市場の中止・延期、飼料費補助、価格差支援、種雄牛避難、消毒装置設置費補助等)
- ・県内発生を想定した「口蹄疫防疫ガイドライン」作成(6/3)と防疫演習実施(9/8)

④ 子育て満足度日本一に向けて

- ・子育て電話相談センター(いつでも子育てほっとライン)の開設(4/1)
- ・乳幼児医療費助成を拡充し、子ども医療費助成制度開始(10月)
- ・「第5回につけい子育て支援大賞」受賞(11/9)

⑤ 医療・福祉環境の整備

- ・県立三重病院が公立おがた総合病院と統合(10/1)
- ・県病院事業の21年度決算額が27年ぶりに黒字転換。黒字額は過去最高(3億1百万円)
- ・こころとからだの相談支援センター開所(4/1)
- ・「ネバーランド県庁店」に続き、「けんちょうのパン屋さん」オープン(6/28)
- ・第30回記念大分国際車いすマラソン大会開催(11/12~11/14)

⑥ ツーリズム、新たなチャンス到来

- ・スカイネットアジア航空就航(10/31)
- ・国際観光クルーズ船「レジェンド・オブ・ザ・シーズ」入港決定(8/17)
- ・「県立美術館基本構想」答申(11/25)

⑦ 着実に進める社会基盤整備

- ・有料道路無料化
大野川大橋有料道路、米良有料道路、大分空港道路無料化開始(12/1)
- ・稲葉ダム竣工(11/7)
- ・大分駅付近連続立体交差事業

⑧ 教育再生

- ・爽風館高校開校(4月)
- ・新しい教職員人事評価制度本格導入(10月～)
- ・教員採用試験一部和解成立(12月)

⑨ 若人の活躍

- ・東九州龍谷高校女子バレーボール部「第41回全国高校バレーボール選抜優勝大会」で史上初の3連覇(3/26)
- ・国東高校「第18回高校生ロボット相撲全国大会」で2部門制覇(10/16)
- ・県立工科短期大学校生が「若年者ものづくり競技大会機械製図(CAD)職種」で3年連続第1位(厚生労働大臣賞)(8/6)
- ・iichikoグランシアタジュニアオーケストラ第一回定期演奏会(4/3)
- ・平成25年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)の北部九州4県(大分で総合開会式)開催決定(5月)

⑩ 海外戦略の展開

- ・「APEC成長戦略ハイレベル会合」〔別府市〕開催(8/7・8)
学生APECを開催し(7/3)、議論の内容はAPEC成長戦略ハイレベル会合議長に提言
- ・「上海プロモーション」(9月)
- ・農林水産物の輸出拡大(日田なし、スギ丸太、ブリフィレ)

- 【別枠】
- ・九州地方知事会九州広域行政機構(仮称)の設立に合意〔10/18〕
 - ・大分トリニータ2010年J2シーズンは15位(10勝11分15敗)と低迷、県文化スポーツ振興財団から再び2億円の緊急融資を受ける